

「ぼくの服」



相庭章哉さん (わかばの家)

# 生の芸術 アール・ブリュット

アール・ブリュットとは、「加工されていない芸術」という意味のフランス語が語源の芸術用語です。自由な発想で湧き上がる衝動に従って制作したアートのことを指し、世界でも高く評価されています。今回は、ご応募いただいた皆さま（会員・施設）の活動についてご紹介させていただきます。

「無題」



倉部勝之さん (わかばの家)

「無題」



五十嵐嘉文さん (わかばの家)

## 社会福祉法人睦月会 わかばの家

わかばの家の皆さんからはこれまでも何度か出展していただきましたが、今年度は38作品が寄せられました。そこで、施設での取り組みについて講師の先生方に伺いました。

### ■活動はどのような形でおこなわれていますか？

当施設では、創作活動を希望される利用者が30名あり、その皆さんに8つのグループに分かれて頂いています。創作活動はひと月に8回行われ、1グループから8グループまでが順に活動されています。



美術講師は2名おります。皆さんが同じテーマで作品を創るのではなく、その方が好まれる手法や興味の対象によって、それぞれに違った作品を作っています。

一回の活動で一つの作品を完成される方、複数の作品を平行して創られる方、1年に1つの作品をじっくり創られる方など、ペースは人それぞれです。

### ■制作している作品はどのようなものですか？

絵画や立体作品など幅広く行っていますが、お祭り等のイベントでは共同制作も行います。文字を書くのが得意な方、絵を描くのが得意な方等、その方の得意分野を生かしてイベント告知のポスターを制作したりイベントの来場者と一緒にライブペインティングをしています。その他、公募展や企画展への出展や、個展の開催等を行っています。

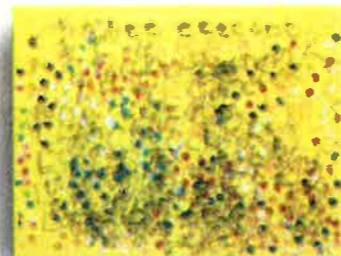


「いろんな生き物」



青木真さん (わかばの家)

「村山商店のおしながき」



村山晶子さん (わかばの家)

「無題」



尾崎和広さん (わかばの家)

「絵本から」



田村昌彦さん (わかばの家)

「腕時計」



大出世一さん (わかばの家)

「無題」



T.Iさん (わかばの家)

「思い出の場所」



平岡良一さん (わかばの家)

「無題」



D.Sさん (わかばの家)

「無題」



高元祐甫さん (わかばの家)

「野球観戦」



若杉正一郎さん (わかばの家)

「音楽を聴きながら」



丸山弘達さん (わかばの家)





くらし・はたらく・けんり  
あなたの「あんしん」を私たちがサポートします

祝 第20号  
2021.7発行

# 東サポだより

発行：一般社団法人東京都知的障害児者生活サポート協会 理事長 加藤 正仁  
事務局：185-0021 国分寺市南町2-11-14 トミービル3F  
TEL：042-300-1366 / FAX：042-300-1367 URL：https://www.tosapo.jp/



「わたし」



竹内直行さん（わかばの家）

「ペタンする！」



鳴海貴仁さん（わかばの家）

## アール・ブリュット作品展

「海と熱帯魚」



田辺明美さん（わかばの家）

「カミナリさま」



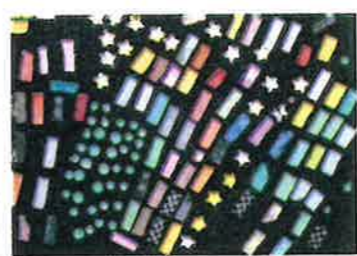
G.Iさん（わかばの家）

「無題」



佐藤博之さん（わかばの家）

「七夕」



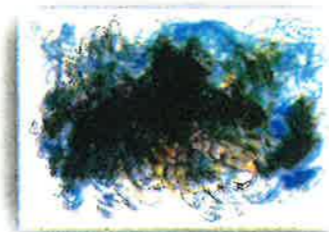
吉成悠さん（わかばの家）

「ボールペンの香り」



J.Tさん（わかばの家）

「無題」



宇田川淳子さん（わかばの家）

「チューリップ・  
ハート・音符」



高橋美奈さん（わかばの家）

「無題」



大塚孝之さん（わかばの家）

「無題」



T.Nさん（わかばの家）

「無題」



富山正浩さん（わかばの家）

### ■活動を始めてから皆さんの様子は変わりましたか？

利用者が日常生活で行われている、紙ちぎりや雑誌の切り抜きの収集などを作品にすることにより、生活と創作が繋がり、日常がより豊かになりました。また、自分で作った作品を他の利用者や職員にプレゼントされる方もあり、人と人との心の交流も生まれています。

### ■活動についての利用者さんの感想など

どの利用者も活動を楽しみにされていて、自分のグループがいつ行くのかを気にされています。当施設では出来上がった作品を階段や壁、食堂で展示をしています。ご自分が生活する場所に作品が飾られることが嬉しい様子が日々の生活で窺えます。



### ■担当者からのメッセージなど

当施設では、来年で創作活動20周年となります。その間に当初では想像もつかないくらいに表現の幅がひろがり、皆さんそれぞれに、日々の制作の楽しさを実感されています。今後も、そんな皆さんの表現の場や機会をサポートさせていただけたらと思っています。



かつて、「情動の解放」という、少しむずかしいコトバを、教員時代に使っていました。とりわけ、「音楽活動」や「図工・美術」「創作活動」「リトミック」等の場面で、ふだんの表情とまるで違う生徒達を見て感動したものです。生き生きとした顔で、声も自由にだし、手・足・指先・視線にも心地よさがあふれていました。人はいくつになっても自分なりの自由な表現手段を得て、生きるエネルギーを発揮することって素晴らしい！それをたくさんの人が応援するともっと幸福になるのでしょう。

(理事 藤田 進)

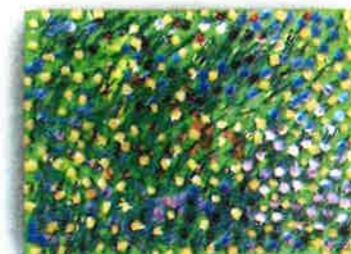
サポート協会「アール・ブリュット作品展」への応募作品は、東サポホームページでもご紹介しています。ぜひご覧になってみてください。  
<https://www.tosapo.jp/cont10/main.html>

「水仙の花」



島田久美さん（わかばの家）

「無題」



三木香織さん（わかばの家）